

藍活用「産学と意見交換」

商品開発 県の研究チーム発足

阿波藍の
染料以外の
用途を探り
商品開発に
つなげる徳
島県の庁内
組織「藍研
究プロジェクト
」が31日
発足し、石
井町の県立
農林水産総
合技術支援
センターで
初会合を開いた。

それぞれの取り組みにつ
いて情報交換した。
支援センターの研究員
は、藍色を生み出す化学
物質を多く含み、機械で
の収穫が容易な品種の特
定する研究の進捗状況を
報告。薬務課の職員は、
身体への効能をうたう食
品や化粧品を製造・販売
する際は薬事法に基づき
許可を得る必要があるこ
とを説明した。

チームは支援センター
をはじめ工業技術センタ
ー、保健製薬環境センタ
ー、薬務課の研究員や職
員計10人。初会合では、
企業とのニーズを聞いた上
で進める必要がある」と
の声が上がリ、早急に企
業や大学などと意見交換
する場を設けることにな
った。

(新居和人)